



笑顔広がる、情報つながる 香南市総合子育て支援センター 「にこなん」



7月1日にオープンした香南市総合子育て支援センター「にこなん」。木材を多く使った、温かみのある真新しい施設を訪問し、センターの概要や役割などを伺いました。子育てのサポートを担うセンターを紹介しましょう。

4つの柱でサポート

玄関ホールに入るとふんわりとした木の香りが漂う「にこなん」は地域の子育て応援施設。保育所や幼稚園に通っていないお子さんの子育てをしているパパやママ、おじいちゃん、おばあちゃん、これから子育てを始める妊婦さんなど多くの方々が自由に利用できます。

「ここでは大きく『4つの事』を柱に、子育て支援を行っていきます」と話されたのは高橋公子所長。まずは『広場』としての活用で、遊びを通して成長を見守りな

広報編集委員 担当/久保きみ

がら、親同士の交流や情報交換ができる場に。次に『子育て相談』として、スタッフが育児に関する不安や疑問などの相談を受けています。

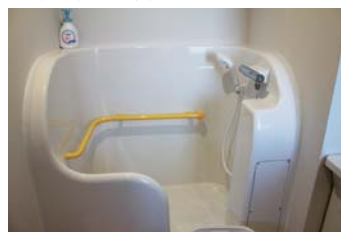
さらに『育児学級』ではスタッフや外部講師による講座やセミナーを開き、育児に役立つ事を楽しみながら学びます。そして、地域の子育てに関するさまざまな『情報提供』を行います。

ほかにも連携事業の妊産婦支援、パパママ教室、離乳食講習会や栄養相談などを実施します。

病後児保育施設



▲木のぬくもりを感じられる特徴的な天井に癒されます



▲かわいいシャワールーム完備



▲3部屋に区切られる部屋で回復期を見守ります

子育て支援センター



▲心身の疲れを感じたら個室で静かに休めます



▲プライベートルームでママと赤ちゃんのスキンシップを



子育て支援センター

病後児保育施設

併設のこの施設では、病気の回復期に有料で保育を行います。「具合は良くなってきたが、まだ登園、登校に不安がある」「もう少し休ませたいが仕事を休めな」といった状況の時に利用できます。対象となる児童の事前登録や利用予約などが必要ですので詳しくは「にこなん」にお問い合わせてください。

利用者のみなさんの声

「ほぼ毎日来ていますー」というママは「家で遊ぶ時よりここに来たほうが機嫌良く喜んで遊んでいます。ほかのお母さん方とおしゃべりや情報交換も楽しんでいます。」と「にこなん」笑顔。「鳴子を鳴らそう」と題した育児学級には、よさこいチーム「おきやく屋」の踊り子たちが訪れ、演舞を披露。その後、正調よさこい節が流れると親子で踊り子に続き、鳴子の軽快な音が広がっていました。



遊びにきてね!

「にこなん」では今後、実習室で栄養士による調理や離乳食講座などさまざまな企画を計画しています。子育てを中心に人と人とのつながりや絆が生まれる場所、ゆつたりと温かみや安心感を持ってもらえる場所作りを目指しています。ぜひみなさんも気軽に遊びに行ってみませんか。

「にこなん」

- 利用日 月曜日～金曜日
- 時間 午前9時～午後3時
- 対象 未就学児童とその家族（主に未就園の乳幼児）妊婦とその家族
- 費用 無料
- 住所 野市町西野2072-4
- TEL 0887-50-5257
- FAX 0887-50-5258

取材時のスタッフ
スタッフは全部で12人

施設の特徴

「にこなん」には遊具や絵本などがたくさんあり、お気に入りのおもちゃに夢中の子どもたち。リズム遊びでは、ママのお膝に乗って音楽に合わせて揺れます、飛びます、滑ります！
床は全面冷暖房でねんねや、はいはいの赤ちゃんにも優しい作

りです。夏場は中庭で水遊びも行っています。ランチルームは、11時から13時まで利用でき、お弁当などを持参し、親子で一緒に食事をしたり、離乳食などの情報交換もできます。所長が「どうしても作りたかった」というのが静養室。例えば、妊娠中や産褥期に心や身体が不安定になったり、子どもの夜泣きや夜中の授乳など寝不足のまま、家事や育児に向かっていたり、子育て中は疲れてしまふことも多いもの。そんな時は静養室(個室)でゆっくり休むことができます。スタッフの皆さんは子どもたちだけではなく、お母さんたちの様子も見守り対応していることに感じました。